

賀 茂 地 区

1 研修会 年間4回実施（他に各支部ごと4～6回実施）

【テーマ】 感じようこころと体、めざそう健やかな生活

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	4月 4支部の研修計画立案 東 賀 チーム学校に向けた養護教諭の専門性を生かした取り組み 下 田 子どもたちの安全・安心な生活をめざした学校保健活動 南伊豆 保健室から発信する安心・安全な学校づくり 西伊豆 校内における危機への対応力の向上をめざした学校保健活動	賀茂教育研究会	支部ごとテーマを設定
2	6月 代表者会報告、執務上の問題点について	賀茂地区学校保健会	
3	11月 講演会「耳鼻科疾患・耳鼻科外傷について」※1	賀茂地区学校保健会	※1 安良里診療所
4	3月 4支部の研修報告、活動の反省、代表者会報告	賀茂教育研究会	医師 大石延正氏

2 昨年度の研修の紹介

賀茂地区内の小児科医 鈴木和重氏を講師に迎え、「感染症対応」をテーマに研修会を行った。新型コロナウイルス感染症の対応について、各校、不安や迷いがある中で医師の立場から講演をいただいたことはとても貴重な研修となった。

3 地区での問題点・課題

4支部に分かれ研修を進めているが、今後の数年間で地区内の学校で統合が続くため、支部での研修、地区での研修をどのように進めていくかが課題である。

田 方 地 区

1 研修会 年間8回実施

【テーマ】 自分で判断し、人とのかかわりながら 適切に行動できる子を目指して

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	5月 年間計画立案	田方地区教育研究会	
2	6月 学校保健会総会・講演会 ※1	田方地区学校保健会	※1 静岡大学教育学部
3	7月 全体研修 グループ研修	田方地区教育研究会	教授 小林朋子氏
4	保健主事養護教諭合同研修会 ※2	田方地区学校保健会	※2 健康運動指導士
5 ～ 8	10月 12月 1月 3月 全体研修 グループ研修	田方地区教育研究会	内藤ルミ子氏

2 昨年度の研修の紹介

令和2年度静岡県教育研究会学校保健研究部〈三島・田方大会〉は、新型コロナウイルス感染症の影響で紙上発表になった。市町別のグループ研修では、それぞれの市町の課題である「心の土台づくりに関する指導」、「歯に関する指導」、「性に関する指導」をもとに実践を重ね、取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症対応では学校の規模や校区の環境に違いがあるが、田方地区全体の状況把握に努めている。

3 地区での問題点・課題

限られた研修回数であるが、情報交換・グループ研修・講演会などを取り入れ、時間を有効に使えるよう工夫している。函南町・伊豆の国市・伊豆市の二市一町と地区の研修や活動があり、グループ研修も地区ごとに分かれることが多く、地区全体の組織力や資質向上を図る必要がある。

東 豆 地 区

1 研修会 年間3回実施（各市ごとの研修は更に月1回程度開催）

【テーマ】 熱海 しなやかで へこたれない 心の力を育てよう
伊東 心も体も生き生きと生活できる子どもの育成

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	6月 代表者会報告 熱海・伊東研修報告 熱海・伊東地区別研修	東豆学校保健研究会	状況によっては変更もあり 事例検討もしくは分散会形式で 実施予定
2	11月 代表者会報告 「日頃の執務の見直し」	東豆学校保健研究会	
3	3月 代表者会報告 熱海・伊東研修報告 熱海・伊東地区別研修	東豆学校保健研究会	

2 昨年度の研修の紹介

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小し、代表者のみ参加となった。

3 地区での問題点・課題

2地区に分かれ、それぞれのテーマで研修を行っている。一堂に会し研修をもてる機会は少ないが、メール等を活用して情報交換を行い、地区全体の組織力や資質向上を図りたい。

三 島 地 区

1 研修会 年間9回実施

【テーマ】 ICTを活用した保健教育

No.	研 修 内 容	主催者	備考(講師・運営)
1	4月 本年度の研修計画、方向性について（紙面）	三島市教育委員会	※1 遠鉄システムサービス(株)
2	5月 グループ研修(役員のみ)	三島市学校保健研修会	
3	6月 全体研修	三島市教育委員会	
4	7月 全体研修 啓発紙「生きる」検討	三島市学校保健研修会	
5	全体研修	三島市教育委員会	
6	9月 グループ研修	三島市教育委員会	
7	10月 全体研修 ※1 講義「保健室でのICT活用法について」 「養護教諭が関わる保健学習について」	三島市学校保健研修会	
8	1月 グループ研修	三島市教育委員会	
9	2月 研修のまとめ	三島市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

予定していた研修会は、新型コロナウイルス感染症のため中止になったものも多かった。また、令和2年度の静岡県学校保健研究大会（三島地区大会）実践発表が、コロナ禍のため紙面発表となった。研修部を中心に紙面でも伝わるように推敲を重ね、無事発表することができた。

3 地区での問題点・課題

令和2年度2月に全小中学校で、生徒・教職員に一人一台タブレット型端末が導入された。情報機器を活用しながら積極的に情報交換を行うことで、養護教諭としての資質向上を図り、地区全体での研修の充実を目指していきたい。

駿 東 地 区

1 研修会 年間6回実施

【テーマ】 支部ごとにテーマを決めて実施

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	6月 学校保健研修会(代表者研修報告・中体連救護についての確認) 学校保健代議委員会 講演会 ※1 歯科健診と全身の健康について	地区教育協会 地区学校保健会	※1 感染症対策により中止 学校歯科医 柏木秀俊氏
2	7月 学校保健研修会 中体連救護の反省・班別研修	地区教育協会	
3	11月 学校保健研修会 保健主事・養護教諭合同研修会(代表者研修報告・講演) ※2	地区教育協会	※2 講師未定
4	11月 地区学校保健研究大会 (表彰・講演会) ※3	地区学校保健会	※3 桐生大学医療保健学部 教授 岩田 昇氏
5	3月 学校保健研修会(代表者研修報告)	地区教育協会	

2 昨年度の研修の紹介

養護教諭研修会は代表者会として3回行った。地区の養護教諭が一堂に会しての研修は11月の保健主事・養護教諭合同研修会のみであった。講師に紙切り作家の水口ちはる氏を招き、様々な面で「心」に寄り添う仕事をしている養護教諭に向けて、「一枚の紙、はさみで描く 寄り添う心」と題し、「切り絵の保健室」の講演をしていただいた。日々、新型コロナウイルス感染症対策に追われる中、温かな時間をもつことができた。

3 地区での問題点・課題

4つの支部が、それぞれテーマを設定し研修を行っている。地区研修は、限られた研修回数で、若手会員も多いため、会員相互の連携・資質向上を目的に、班別研修を充実させ、情報交換を積極的に行っている。

沼 津 地 区

1 研修会 年間13回実施

【テーマ】 「小中一貫教育をふまえた保健教育」

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1・2	4月 研修計画作成・校区研修	沼津教育振興会 沼津市学校保健会	※1 西村医院 院長 瀧上佐智子氏 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を中止した研修会(NO. 2、6)
3・4	6月 校区研修・二部合同研修会		
5	7月 テーマ別グループ研修		
6	8月 全体研修1学期の反省		
7	8月 夏季講演会 ※1 「支援が必要な子どもへの対応」		
8	7・8月 グループ別研修		
9	11月 二部合同研修会		
10	12月 全体研修 日常執務の反省		
11	1月 グループ別研修		
12	2月 グループ別研修		
13	3月 1年間の反省		

2 昨年度の研修の紹介

令和元年度より「小中一貫教育をふまえた保健教育」をテーマに、4年計画で研修を進めている。沼津市全体で、義務教育9年間を通して子供を育てるという視点を大切にし、「性教育」「心の教育」「危機管理」「教科保健」「ほけんだより」の5グループで研修を深めた。

3 地区での問題点・課題

限られた研修機会を有効に使い、養護教諭としての資質と力量の向上に努めたい。また、若手会員も多いので、会員相互の連携・共通理解を深め、地域の組織力向上や研修の充実を目指していきたい。

富 士 地 区

1 研修会 年間 10回実施

【テーマ】 生涯にわたり心豊かで健やかに生きる子
～小中一貫した健康教育で、健康意識の向上をめざす～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	5月 全体研修(年間計画)	富士市教育研究推進会	※1 静岡大学教育学部 教授 鎌塚優子氏
2	6月 班別研修	富士市教育研究推進会	
3	7月 講演会 ※1、班別研修	富士市教育研究推進会	
4	8月 班別研修、執務検討	富士市教育研究推進会	
5	8月 班別研修	富士市学校保健会	
6	11月 一斉授業研究会 (健康教育部授業研究)	富士市教育研究推進会	※2 富士市医師会 (保健主事との合同研修)
7	12月 班別研修	富士市教育研究推進会	
8	1月 講演会 ※2	富士市学校保健会	
9	2月 全体研修(研修のまとめ)	富士市教育研究推進会	
10	3月 全体研修(次年度への指針)	富士市学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修の機会は減ってしまったが、各中学校区で健康課題を解決するために行っている取組を、コロナ禍において各班で工夫しながら実践した。また、全体で共有することで有意義な研修となった。

3 地区での問題点・課題

限られた研修の機会を、班別研修、合同研修、講演会と計画し、養護教諭の資質の向上を目指すとともに、キーワード「つなぐ」を柱とし、富士市小中一貫教育グランドデザインを意識して研修を充実させていく。

富 士 宮 地 区

1 研修会 年間 9回実施

【テーマ】 生きる力を育む健康教育
～学校運営を意識した小中連携による学校保健活動を目指して～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	4月 学校医及び養護教諭合同研修会	富士宮市教育委員会	※1 中学校区班別研修 ※2 グループ研修
2	6月 市内全体研修会	富士宮市教育委員会	
3	7月 第1回健康教育研修会 ※1	富士宮市教育委員会	
4	8月 第2回健康教育研修会 ※2	富士宮市教育委員会	
5	10月 第3回健康教育研修会 ※1	富士宮市教育委員会	
6	11月 市内全体研修会	富士宮市教育委員会	新型コロナウイルス感染症拡大の 観点から講演会中止
7	12月 学校医及び養護教諭合同研修会 第4回健康教育研修会 ※1	富士宮市教育委員会	
8	1月 第5回健康教育研修会 ※1	富士宮市教育委員会	
9	2月 学校歯科医及び養護教諭合同研修会 第6回健康教育研修会 ※1	富士宮市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

新型コロナウイルス感染症の対応について中学校区で情報交換を行い、指導教材などを作成し、対応の共有化を図った。また、中学校区で形成されている班別研修では、各班のテーマに沿った研修を進めた。

3 地区での問題点・課題

中学校区の班別研修を活かした学校保健活動を実践し、今後も小中学校で連携し情報共有をしながら、さらに学校組織の活性化につながるよう研修を深めていきたい。

静岡 地 区

1 研修会 市全体会・年間3回実施 (他に支部ごと8～10回実施)

【テーマ】 生きる力と豊かな心を育む健康教育をめざして

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	8月 第1回市養護教諭研修会 ※1 「思春期の摂食障害」	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	※1 浜松医科大学医学部附属病院 精神科医 竹林淳和氏
2	10月 第2回市養護教諭研修会 ※2 「コロナ禍における子どもの 心への影響」	静岡市教育委員会	※2 静岡大学教育学部 教授 小林朋子氏
3	3月 第3回市養護教諭研修会 講義と支部研修報告	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	
支 部	支部ごとに、支部の研修テーマに沿った 研修を計画的に行う。	静岡市校長会 静岡市養護教諭研究会	支部ごとに企画、運営し、実践集 録にまとめる。

2 昨年度の研修の紹介

静岡厚生病院小児科医 田中敏博氏より「コロナ時代の学校と医療の役割」、静岡大学教育学部教授 鎌塚優子氏より「子どもたちを支えるための健康相談活動」、かわはら医院 河原秀俊氏より「食物アレルギーについて一学校での対応」について、それぞれ講話をしていただいた。

3 地区での問題点・課題

来年度全市一斉スタートする静岡市型小中一貫教育の取組や、GIGAスクール構想による授業改善の中で、子供を取り巻く新たな課題に対応するため、今一度「チーム学校」の養護教諭として学校経営にどのように参画していくかを念頭におき、職務の推進について研修を深めていきたい。

志 太 地 区

1 研修会 年間4回実施

【テーマ】 心身共に健康で、活力に満ちた児童生徒の育成
～子どもの「こころとからだ」の健やかな成長を目指して～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	6月 志太地区養護教諭研究会総会① 志太地区学校保健会研修会	志太地区養護教諭研究会 志太地区学校保健会	研修会は中止とし、中高の養護教諭所属校の名簿交換とした。
2	7月 中学校・高校養護教諭合同研修会	志太地区養護教諭研究会	
3	8月 静岡県教育研究会学校保健部	静岡県教育研究会	※1 NPO法人子どもとメディア代表 理事 清川輝基氏
4	12月 志太地区養護教諭研究会研修② 志太地区学校保健会研修会※1 「メディアの落とし穴」	志太地区養護教諭研究会 志太地区学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

例年2回の講演会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月の講演会が中止となった。12月は安池中也氏（えて代表取締役社長）より「子どもに優しい学校づくり～多様性を生きる子どもたちに大切なこと～」と題し、講演をしていただいた。周囲から理解されにくい問題を抱えている子供たちについて理解を深め、その困り感や学校でできる対応について学ぶ貴重な機会となった。

3 地区での問題点・課題

志太地区は3市に分かれて研修を行っているため、3市合同での研修回数は限られている。その中で、情報交換や講演会などを計画し、養護教諭としての資質向上を図り、地区全体での研修を深めていきたい。

榛 原 地 区

1 研修会 年間4回実施

【テーマ】 しなやかに、人とかわりながら前向きに生きていこうとする子～保健室からのアプローチ～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	6月 第1回全体研修会 研修計画、グループ研修 執務研修	榛原地区養護教諭研究会	
2	10月 学校保健部研修会 ※1	榛原地区教育協会 学校保健部	※1 言葉と対話のアドバイザー 静岡新聞NIEコーディネーター矢澤和宏氏
3	11月 第2回全体研修会 ※2 講話、グループ研修、執務研修	榛原地区養護教諭研究会	※2 勇気づけ親子心理学講座講師 アドラーカウンセラー内田育子氏
4	2月 第3回全体研修会 研修報告、グループ研修 執務研修	榛原地区養護教諭研究会	

2 昨年度の研修の紹介

グループ研修では、「保健教育」「健康相談」「組織活動」の3つに分かれて「願う子ども像」を意識しながら研修を進めた。コロナ禍により研修を通して見方が変わったことや、実践して良かったこと、配慮したこと等の情報交換を行い、次年度に活かすことができた。

3 地区の問題点・課題

今後、学校再編による学校数の減少が予想されるため、研究会の組織の見直しが必要である。また、会員の年齢層も若いため、代表者や研修委員を中心に連携し情報交換をしながら、養護教諭の資質向上に努めていきたい。

小 笠 地 区

1 研修会 年間3回実施

【テーマ】 (1) 健康教育推進者としての力量を高め、専門性、独自性を活かした資質の向上に努める。
(2) 小笠地区養護教諭研究会の組織の活性化を図る。

No.	研 修 内 容	主催者	備考(講師・運営)
1	6月 第1回全体研修会 研修計画・顧問校長講話	小笠地区養護教諭研究会	紙面報告
2	8月 第2回全体研修会 ※1 「育成と連携」 ～養護教諭の資質向上を目指す～	小笠地区養護教諭研究会	班別オンライン研修 ※1 講話「多様な性を知ろう」 浜松にじいる安場 永田 怜氏
3	11月 学校保健研究部一斉研究報告会 「自分の身体と主体的に向き合う子どもの育成」 ～発達段階に応じた切れ目のない健康教育～	小笠教育研究協会 学校保健研究部	班別オンライン研修

2 昨年度の研修の紹介

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体研修会は全て中止となった。そのため班別研修（小笠地区は50校が5班に分かれている）を実施して、感染症対策や中学校区別の健康教育実践についての研修を深めた。

3 地区での問題点・課題

若手養護教諭の増加による年齢構成の変化や学校ICT化に伴い、地区養護教諭研究会の組織や活動内容を見直していく時期であると考え。全体研修会は限られているため、中学校区や班における研修の機会を活かし、連携をとりながら、組織力の向上に努めていきたい。

磐 周 地 区

1 研修会 年間4回実施 (他に研修5回実施)

【テーマ】 ころざしをもって、たくましく生きる力を育てる健康教育
～「縦の接続」「横の連携」による取組～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	6月 第1回養護教諭研修会 研修計画・中体連救護の伝達	磐周学校保健会	※1 認定NPO法人COMPAS 代表理事 栗山 恵氏 ※2 磐田市立総合病院 医師 安間章裕氏
2	7月 学校保健部研修会 ※1 講話「色彩とノンバーバルコミュニケーション」	磐周教育研究会	
3	11月 第2回養護教諭研修会 ※2 講話「コロナウイルス感染症の情報と対策」	磐周学校保健会	
4	3月 第3回養護教諭研修会 (実技研修)	磐周学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

中止になった研修会があったが、中学校区で研修を進め、実践内容を研修収録「あゆみ」にまとめた。11月には磐田市立総合病院感染症認定看護師の田中恵氏から「日常生活でできる感染対策」の講話を聴き、具体的な予防対策について学んだ。3月は株式会社アーチ柔道整復師の小池隆史氏と管理栄養士の加藤有美氏からの講話を聴き、けがや熱中症の応急処置について研修した。

3 地区での問題点・課題

研修時間の確保が難しく、終日の研修が午後のみの開催となったり、視察研修ができなかったりして、情報共有や若手育成の機会が減少した。また、子供を取り巻く生活環境が大きく変化しているため、研修テーマや研修の方向性について、再検討していきたい。

湖 西 地 区

1 研修会 年間 6回実施

【テーマ】 これからの学校保健の在り方

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考(講師・運営)
1	7月 第1回養護教諭研修会 ※1 (健康診断の在り方・発育状況調査)	湖西市教育会養護教諭部	※1 湖西市教育会 顧問校長 鈴木康弘氏
2	第2回養護教諭研修会 (健康診断や執務上の問題点)	湖西市教育会養護教諭部	
3	8月 保主・養教合同研修会 ※2 「学校における発達支援について」	湖西市教育会 保健主事部・養護教諭部	※2 市立湖西病院 臨床心理士 小林秀次氏
4	11月 第3回養護教諭研修会 (学校保健の問題点・研修のまとめ)	湖西市教育会養護教諭部	
5	1月 学校保健研修会 (情報交換・学校医からの指導)	湖西市学校保健会	
6	2月 養護教諭研修会	湖西市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

感染症対策について、現状を確認したり、各校で実践している対策について情報交換したりした。感染症対策の効率や効果が高まるよう、最新の情報を確認し、地区全体で共有した。また、各校での実践から、より効果的な取組を自校の実践に活かせるように研修を進めた。

3 地区での問題点・課題

小規模の地区であるため、学校内外における様々な場面で一人一人に係る負担は大きい。効率よく執務を進めるためにマニュアルを作成し、多様化し変化する学校保健の課題に対応してきた。今後も、最新の情報を共有し、地区全体の学校保健活動の向上を目指していきたい。

浜 松 地 区

1 研修会 年間12回実施

- 【テーマ】 (1) すこやかな心と体 命を大切にできる子の育成
(2) 養護教諭の資質向上を目指して

No.	研 修 内 容		主 催 者	備 考(講師・運営)
1	4月	教育研究協議会	浜松市教育研究会	※1 神戸親和女子大学発達教育学部 教授 金田健一氏
2	5月	第1回ブロック別研修会（養護教諭部）	浜松市教育研究会	
3	6月	第1回研修会（保健主事養護教諭合同）	浜松市教育研究会	
4	6月	養護教諭研修会 ※1 オンライン研修 「チームで対応するいじめ・不登校・ネット依存の 対応～養護教員の専門性からのアプローチ～」	浜松市教育委員会	
5	7月	養護教諭部研修会（分科会）	浜松市学校保健会	※2 浜松医療センター 小児科医 宮本 健氏
6	8月	第2回ブロック別研修会（養護教諭部）	浜松市教育研究会	
7	8月	第2回研修会（保健主事養護教諭合同）	浜松市教育委員会	
8	8月	養護教諭部研修会 動画配信 ※2 「神経発達症の基礎知識・神経発達症児と 家族の支援について」	浜松市学校保健会	
9	10月	養護教諭研修会 動画配信 ※3 「養護教諭が性的マイノリティ児童生徒へ の支援において果たす役割について」	浜松市教育委員会	※3 静岡大学教育学部 教授 鎌塚優子氏
10	10月	第3回ブロック別研修会（養護教諭部）	浜松市教育研究会 浜松市教育研究会 浜松市教育委員会	
11	11月	第3回研修会（保健主事養護教諭合同）		
12	3月	養護教諭研修会		

2 昨年度の研修の紹介

昨年度の研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、中止やオンライン、少人数での開催となった。浜松市学校保健会養護教諭部研修会では、動画で、浜松市総合支援センター 稲川秀子氏による「学校における医療的ケアについて」の講話、西部特別支援学校 山田恵美子 養護教諭から前任校における医療的ケア児の受け入れの実際についての話を聞いた。医療的ケア児を受け入れる際の学校体制づくりや学校生活、危機管理の在り方について学ぶことができた。

3 地区での問題点・課題

これからの浜松市養護教諭研究会の組織の在り方や若手育成等が課題である。組織会則検討委員会や研究推進委員会を通して検討を重ね、学校の中で専門性をもつ養護教諭として、資質能力の向上を目指し、研修の充実に努めている。